

清水ホビーショーで自衛隊車両を展示 体験試乗も



自衛隊ブース



高機動車体験試乗

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は8月30日（土）と31日（日）、清水マリリンビル（静岡市）周辺で開催された第3回清水ホビーショーで広報活動を行った。

これは「見て・作って・動かし・遊ぶ」をテーマに、静岡を代表する模型メーカーなどが集まり行われたもの。2日間で約2万5000人が訪れた。

自衛隊は清水マリリンパークに広報ブースを展開。陸自部隊訓練評価評価支援隊が96式装輪装甲車と小型トラック、陸自第34普通科連隊が大型トラックと救急車を展示し、さらに高機動車による体験試乗を行った。

また、静岡地本は、迷彩服試着体験や災害派遣活動の紹介、自衛官採用制度説明、装備品の模型展示などを行い、自衛隊への理解促進を図った。

会場には多くの観光客や家族連れが訪れ、普段身近に接することのない自衛官や装備品に興味津々な様子だった。特に高機動車の体験試乗は、「まさか自衛隊の車に乗れるとは思わなかった」「スピードが速くて面白かった」と大人にも子供にも大人気だった。

静岡地本は、今後も地域のイベントに積極的に参加し、自衛隊の活動をPRしていく。

樹空の森で自衛隊とのふれあい祭り開催



部隊紹介



静岡地本ブース

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は9月20日（土）、富士山樹空の森（御殿場市）で開催された第11回自衛隊とのふれあい祭りに参加した。

当日はあいにくの雨模様だったものの、家族連れを中心に約2300人が訪れた。

静岡地本がVR体験やオリジナル缶バッチプレゼント、自衛官採用制度説明などを行ったほか、施設周辺に所在する陸自部隊による16式機動戦闘車、陸自救急車の展示、高機動車の体験試乗、自衛隊特製豚汁の無料配布、応急救護体験が行われた。

ステージでは、裾野市出身の歌手によるライブ、富士学校音楽隊の演奏、第34普通科連隊らっぱ隊によるらっぱ吹奏が行われ、会場が一体となって盛り上がった。

また、自衛隊や施設のマスコットキャラクターが勢ぞろいする部隊紹介タイムも設けられ、司会と自衛官の軽快な掛け合いや各マスコットキャラクターの愛らしい動きに観客の注目が集まった。静岡地本の「しずぽん」も参加し、沼津地域事務所の自衛官扮する「ぬまぽん」とともに静岡地本の活動をPRした。

静岡地本は、今後も市民とふれあう機会を活用し、自衛隊に対する理解促進を図っていく。